

## 東彼杵町総合戦略推進会議 議事録

1	会議の名称	<b>令和6年度 第2回 東彼杵町総合戦略推進会議</b>		
2	会議の開催日時	令和7年2月27日(木) 15時00分～15時45分		
3	会議の開催場所	東彼杵町総合会館保健センター2階検診ルーム		
4	事務局(担当課)	総務課企画係	傍聴者数	0名
5	出席委員	三尾 剛志(副会長)、西坂 秀徳(会長)、吉田 浩史、佐崎 智章、中野 隆志、村田 俊輔、木田 浩美、下田 勝、高坂 由美子、野口 厚司、澤登 舞 (以上11名、順不同)		
6	会議の内容	<b>1 開会</b> <b>2 会長あいさつ</b> <b>3 議事</b> (1)東彼杵町人口ビジョン及び東彼杵町デジタル田園都市国家構想総合戦略(素案)について (2)地方創生関係事業の効果検証について <b>4 その他</b> <b>5 閉会</b>		
7	配布資料	●令和6年度 第2回東彼杵町総合戦略推進会議 次第 ●東彼杵町人口ビジョン及び東彼杵町デジタル田園都市国家構想総合戦略(素案) ●基本目標・施策・主な事業 比較表 ●地方創生推進交付金事業一覧 ●令和4年度【東彼杵町】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況及び効果検証 ●令和5年度【東彼杵町】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実施状況及び効果検証 ●令和5年度【東彼杵町】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画 ●令和6年度【東彼杵町】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金実施計画		
8	審議等の内容	別紙のとおり		

## ○開会

事務局：ただ今より令和6年度第2回東彼杵町総合戦略推進会議を開会する。今回より、委員が変更となっている。（村田委員）

## ○会長あいさつ

西坂会長：皆様こんにちは。今回は出席している方が少ないが、その分積極的に協議していただければと思う。

## ○協議事項

### （1）東彼杵町人口ビジョン及び東彼杵町デジタル田園都市国家構 想総合戦略（素案）について

～人口ビジョンについて事務局より説明～

西坂会長：事務局から説明があった。委員の皆様からご意見・ご質問はないか。

西坂会長：人口推計にあたって4種類ほど算出しているが、これについて、もう少し詳しく説明していただきたい。

事務局：基本的に効果として挙げられるのは35ページにもある「出生」「社会増減」「転入」の3つの項目である。これらの効果の大きさを2パターン、効果が出る時期で2パターンを組み合わせた4つの推計を行っている。

澤登委員：33ページのシミュレーションで影響度がそれぞれ自然増減と社会増減と出しているが、この2つが大きく離れている自治体はあるのか。

事務局：例えば極端に単身世帯の転入転出が激しい工業地帯などの自治体の場合はそういったことがあることも考えられる。

澤登委員：東彼杵町のような地方の自治体でもあるのか。

事務局：あまりケースとしては少ないと考えられる。

中野委員：人口推計が出ているが、町として運営ができる人数にボーダーライン

はあるのか。

事務局：小値賀町がちょうど 2,000 人。まちとしては 10,000 人を維持していきたい。効率的な行政運営でもその程度の人口は目指していきたい。どんな人口でも自治体としては運営できるが、それは地方交付税があるから。今後のことを考えると、維持していきたい。

中野委員：結局人口は自治体同士の取り合いになる。長崎市はよそに人口が流れてしまっている。そのあたりを考えて、町も 10,000 人を目指して行政としても取り組んでほしい。隣の大村市は、土地が安い・住みやすいといった条件がある。そうした自治体に対しても東彼杵町を売り込んでほしい。

事務局：合計特殊出生率も、現在 1.2 ここ最近で低下している。これをあげていくことも重要。ヨーロッパでも 1.6、なので町として 1.5 を目指していきたい。

西坂会長：取り合いとなった時に、大村市にはなくて、東彼杵町にはあるもの、様々整理して取り組んでほしい。自分たちの子どもたちも家を建てるときにはそういったところを見ている。

中野委員：大村市に住んでいる人の中には、よそから別荘のようなかたちで住んでいる人もいて、そういった人たちにもアピールしてもいいかと思う。

事務局：地域プロジェクトマネージャーが外部から来ており、地域ブランディングの施策を展開している。まず読めない・かけない「東彼杵」の知名度を上げていく取り組みを行っている。県内では認知が広まっているが、全国ではまだまだである。今後、大阪万博での PR やブース出展なども決定している。そんな中でどんどん PR をしていく。同じような環境のまちはたくさんあるが、その中で東彼杵町をアピールしていくことが重要だと感じている。

～総合戦略について事務局より説明～

野口委員：比較表の 6 ページ、子育てに関する支援だが、「子ども家庭センター」は既にあるのか。

事務局：東彼杵町の健康増進係が担当している。なかなか認知度が高くないので向上にむけて取り組みを進めていく。

野口委員：児童相談所はどこが管轄しているのか。

事務局：佐世保の支援センターが管轄となっている。何かあった時には、役場にて協議をしたりしている。

野口委員：佐世保だと遠いため、相談に連れていくのに負担がかかる。どのようにサポートすべきなのか、考えることも大事だと感じる。

野口委員：すすすすねんねとは何か

事務局：今会議をしている場所のすぐ隣に設置しており、子育て世帯が気軽に集まれる場所だ。

野口委員：町の情報発信を進めて知名度を上げることも大事だが、子育てや子ども・あかちゃんに対しても、手厚く見守るような環境ができると、自然と評判が広がっていくと思う。「東彼杵町は小さいけど、子どもを大事にしている」というような評判が広がれば、自然と人口は増えていくと思う。高齢者も大事だが、子どもの育ちをみんなで見守れば、こころも豊かになる。障がいがあっても、手厚いサポートをしていくといった施策ができるとよいと思う。保育所の利用料が安いだけでなく、経済的にも、精神的にも支援している暖かい町になれば、希望が見えてくると思う。例えば、子育て支援センターのように、集まれる場所があれば相談しやすいし、悩みを抱えている保護者同士で話ができるなど、そういった環境があればよいと思った。何か目玉にある施策があれば、よそと同じことをすることもいいが、東彼杵町ならではの特徴的な施策があってもいいと思う。

事務局：町内の建物が町の施設になり、子育て総合施設として整備していく予定。学校については、東彼杵町は先生に人気がある。職員に対しても支援が充実しており、授業がしやすいと評判である。それに加えて、子育て施設の充実も併せて人口増につなげていきたい。

木田委員：子育て支援センターだが、誰でも来ていい場所としている。高齢の方だったり、子育て世帯だったり、いろいろな方が集まっている。児童相談所の簡易的な役割も果たしている。また、専門的な支援が必要であれば、関係機関にもつながれるようになっていく。なかなか支援が必要な時に役場の窓口であったり、児童相談所に行くのは難しい。新しく整備される場所に子ども家庭センターがあればより良くなると思う。

木田委員：子ども食堂を実施しているが、防災委員の炊き出しなど、防災に関する勉強会を開いたりしている。また、地区での支え合いについても多世代の顔が見える環境づくりをしている。社協のお助け隊などと同じような活動してる。誰もが大事なことを理解して、連携・協力して行えたらよいと思った。その中で、それぞれの専門的なことができればと思う。

事務局：どうしても行政は縦割りになりがちだが、近年変化している。取り組みの段階でそういったところは十分配慮していきたい。

## （２）地方創生関係事業の効果検証について

### ○その他

澤登委員：東彼杵町にファミリーサポートセンターがない。多くの自治体で実施しているが、移住促進のことを考えると、頼れる対象がいたほうが良いと思う。頼れるところがないと町に住みづらい。その結果大きな町に行ってしまう。

事務局：包括的に支援ができる体制は大切だと思う。子育て支援施設の整備と併せて考えていきたい。国からのトップダウンで急ぎの施策ばかりで効果がある取り組みができていない自治体も多い。今後はよく施策を考えながら進めていきたい。100年に一度の変化が起きようとしている。工業団地・新庁舎・商業施設・デマンド交通など、今後はリアルな地方創生を進めていきたい。隣の大村ではなく、東彼杵ならではの地方創生をしてきたい。ハードも大事だが、ソフトの面も併せて進めていきたい。

下田委員：産婦人科が東彼杵郡にない。この間もテレビでやっていたが、近くにないと子どもを産みづらい。子どもの人口を増やしていくことを考えると、そういったことも考える必要があると思う。また、新庁舎の総工費が17億、うち8億を起債で賄うと聞いた。なかなか重いのではないか。ある程度基金をためたうえでつくるのが一般的だがそのあたりはどうなのか、

事務局：現在庁舎が築64年。大きな地震が来たらつぶれてしまう。令和元年から基金を積み立てて5億になった。着工が令和10年、令和12年。現在概算だが今後また上がっていくことも考えている。デザインビ

ルトという手法をとっている。今のところ一番適切だと思っている。庁舎完成の頃は人口 5000 人、庁舎もコンパクトにする想定。産婦人科については、実松医院跡に入ってもらえないかあたっているが、人口規模の兼ね合いでなかなか難しい。

下田委員：総合会館ができたタイミングでなぜ役場を入れなかったのか。

事務局：当時は「ホールをつくる」という考えだけだったのだと思う。新庁舎の整備と併せて総合的な施設にしていきたい。

## ○閉会

事務局：以上を持って本日の会議すべてを終了する。